



Will the FASB and IASB remain divided by a common language? FASBおよびIASBの共通言語の分断はいつまで続くのか？

PwCの国際財務報告基準(以下IFRS)リーダーであるIan Wright氏がFASB/IASBコンバージェンスのロードマップの進捗状況を検証していきます。

アメリカの証券取引委員会(以下SEC)はIFRSで作成された財務諸表の会計上の必須調整項目を無くすことができるでしょうか？この議論は10年以上続いています、いまだに解決されていません。財務会計基準審議会(以下FASB)および国際会計審議会(以下IASB)のフレームワークは本質的には広義で比較可能です。2つのフレームワークを収斂させるコンバージェンスプログラム“ロードマップ”が進行しているものの、調整すべき差異が多く残っているのが現状です。調整項目の多くは、基準の詳細部分であり、技術的専門家は大部分において理解しています。

当時SECの主任会計士であったDon Nicolaisen氏が2005年に発表した記事は、このプロジェクトの予定(タイムテーブル)を初めて公表するものでした。その中で、US GAAPとIFRSを同等レベルにするため、最低限必要な変更箇所について、2009年を最終期限として結論を出す述べています。文書により期限を約束したのですが、のちにSECスタッフから当該記事は個人的な意見を述べたものであるという否認声明が出ています。しかしながら、この記事の内容がFASB、IASBおよび規制当局が合意したものであると考える関係者は多いのです。

US GAAPとIFRSのコンバージェンスプロジェクトは、完全ではなく十分なレベルを目的に順調に進行しているというのが2005年の一般的な見方でした。水面下では、プロジェクトを「成功」させるために最低限必要な修正について、欧米の政界で調整が行われたと考えられます。US以外では、「成功」はUS GAAPとの調整が必要ないIFRSの容認です。一方USにとってはIFRSと同等レベルのUS GAAPを欧州委員会(以下EC)が了承することが「成功」となります。これにより、USの国内企業は、“New Prospectus and Transparency Directives(新目論見書および透明性の指示)”に含まれる全欧州の資本市場の法案に準拠するために、IFRS財務諸表を作成または調整しなくてもいいという、特権が与えられることとなります。多くのUS国内企業は欧州で上場はしてなくても債権を発行しています。この水面下の活動は2006年2月に成功として歓迎され、IASBとFASBの“Memorandum of Understanding(MoU: 理解の覚書)”(EUおよびSECに受諾され施行されている)が発行されました。

2005年度の外国発行体のファイリングに関するレビュー結果が、必須調整項目を無くすための意義ある情報であることを期待します。我々が得た、その報告結果、経験および確信が、IFRSの一貫適用のための道程のスピードを左右するに重要な影響があります。

2005年の年次報告のレビューを2006年の下半期に本格的に開始する予定です。全ての企業が一貫してIFRSを忠実に適用することができれば、IFRSからUS GAAPへの必須調整項目をなくすよう、SECスタッフが委員会に提案する決定を円滑に運ぶことになるでしょう。

Donald Nicolaisen氏, 2005年4月 *Northwestern University* 発行 *Journal of International Law and Business*「国際法および国際ビジネス」より

“コンバージェンス”の議題

目標は、2008年までに合意に達することです。主な分野における重要な差異は(下記リスト参照)短期の基準設定プロジェクトで解消できるでしょうか? 解消可能である場合、両審議会は2008年までに完了または大部分終了することができるでしょうか? 短期プロジェクトの要求項目は驚くほど少ないのです。

FASB検証項目	IASB検証項目
公正価値オプション*	借入費用
減損(IASBと共同)	減損(FASBと共同)
法人所得税(IASBと共同)	法人所得税(FASBと共同)
投資不動産**	国庫補助金
研究開発費	ジョイントベンチャー
後発事象	セグメント報告
* 2005年7月1日の議事録で進行議題 ** FASBの公正価値オプションプロジェクトの中で検討	

両審議会のその他の議題

進行中の議題	2008年目標
企業結合	コンバージェンス基準の公表
連結	基準のコンバージェンスに向け作業段階
公正価値評価のガイダンス	コンバージェンス指針の公表
負債および資本の指針	デュー・プロセス文書の公表
業績報告	デュー・プロセス文書の公表
退職後給付	デュー・プロセス文書の公表
収益認識	デュー・プロセス文書の公表
研究プロジェクト	
認識の中止	デュー・プロセス文書の公表
金融商品(現行基準の置換え)	デュー・プロセス文書の公表
無形資産	潜在プロジェクトの範囲とタイミングを決定
リース	潜在プロジェクトの範囲とタイミングを決定

両審議会間の合意は、上記表にまとめられている議題を検討することであり、コンバージェンスを確約することではありません。議題の中にはその結論がコンバージェンスは難しいとなる可能性もあるわけです。このように考えると、上記リストを達成するのは大変ではないのかもしれませんが、Nicolaisen氏のスピーチから1年半がたちますが、2008年末までの残り15ヶ月で、IASBが進めなくてはならない6項目の進捗はどうなっているのでしょうか。残念ながら、順調とはいえない状況です。

セグメント報告

IASBの公開草案が今年前半に公表され、IASBは寄せられたコメントを分析しているところです。経営者が事業を行ううえで使用するデータに基づいてセグメントを報告することを求める、US GAAPのアプローチを強く支持する声があります。

借入費用

IASBは7月に、借入費用の資本処理に関するIAS第23号修正案を発行しました。コメント期限は9月29日でした。コメントの中には、コンバージェンスを優先して費用処理の選択肢を削除するのではなく、草案の合理性を確証するためにもまず基本原則をより深く検討する必要がある、というものもありました。PwCは、当該トピックスが2009年の期限までに優先すべき事項であるかどうか、IASBはECおよびSECに相談することを提案しています。

法人所得税

IAS第12号の修正案が、今年の第2四半期に発行されることが期待されました。ですが、FASBがUS GAAPの修正にとりかかっていたため、IFRSの草案の発行は遅れています。少なくとも2006年中の発行が期待されます。これにより、目標であった2007年中に基準を発行するのが難しくなっているのが現状です。繰延税金資産の割引を期待する声は多いですが、経済状況および関連する不確定要素を的確に認識すると考えるからですが、繰延税金資産の割引がプロジェクトに組み込まれる可能性は低いと思われます。

減損、国庫補助金およびジョイントベンチャー

IASB ミーティングの報告書には、上記トピックスのうち最後の 2 項目については公開草案の発行は間近であると書かれています。しかしながら、審議会が 2008 年 12 月 31 日の目標を達成するためには、他のプロジェクトを中断するか、延期する必要があります。IASB および／または FASB がロードマップの期限を守れなかったらどうなるでしょうか。EC および SE が(以外ではあるが)柔軟な姿勢で理解を示すことがあるでしょうか。少なくとも進展状況について理解を示し、その進展した項目について、相互認識の原則に基づいて尊重されることを期待したいところです。SEC および EC が強調している項目以外について、私たちは一貫した品質による IFRS の適用、高品質の監査および効果的な実施を実現していかなければなりません。

お問合せ： あらた監査法人(広報)

あらた監査法人

〒108-0014

東京都港区芝浦4丁目2-8

住友不動産三田ツインビル東館13階

電話:03-6858-0179(直通)

メールアドレス: aratapr@jp.pwc.com

あらた監査法人は、世界 148 ヶ国 771 の都市に 13 万人以上のスタッフを擁するプライスウォーターハウスコーパーズ(PwC)のメンバーファームです。PwC のメンバーファームとして、会計及び監査において PwC の手法に完全に準拠した国際的なベストプラクティスを採用し、PwC のグローバルネットワークで培われた経験、専門知識、リソースを最大限に活用し、日本において国内企業および国際企業に対して、国際水準の高品質の監査を提供していきます。

© 2006 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved.

'PricewaterhouseCoopers' refers to the Japanese firm of PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the other member firm of PricewaterhouseCoopers International Limited, each of which is a separate and independent legal entity.